

今月の表紙  
春の植樹デー



「足尾の山に100万本の木を植えよう」を合言葉に、平成8年から足尾町松木地区で毎年開催されている春の植樹デー。14回目となる今年は、4月25日(土)・26日(日)に開催されました。

25日はあいにくの雨でしたが600人が参加。また、取材に訪れた26日は、朝のうちの強い雨も集合時間にはすっかり上がり、天気にも恵まれて800人が参加しました。今年の植樹地の1つは928段の階段を上った場所。足尾の町や製錬所、松木溪谷などのすばらしい景色と青空のもと、参加者は思い思いの場所に苗木を植えました。

表紙を飾った仲山さん(那須烏山市)は、「職場の仲間と誘い合せて参加しました。今回が初めてですが、実は以前から足尾の植樹に興味があり、せっかくの機会なので家族4人で来ました」と話してくれました。

この2日間で5,500本の苗木が植えられました。



**足尾まつり**  
5月3日(日)、足尾まつりが行われました。足尾の町に春を告げる伝統的なお祭りとして毎年行われています。  
かつては山神祭として毎年春に行われていましたが、昭和48年の銅山閉山とともに、祭りも終わりを告げました。しかし、多くの人々の願いにより、昭和52年に足尾まつりとして復活しました。今年も、足尾町内各地区から山



車と神輿が練り出されました。にぎやかなお囃子とともに、ひよつとこや、おかめに扮した子どもたちが元氣な踊りを披露し、訪れた人たちは拍手を送っていました。  
おかめに扮して踊った、倉澤若菜さんと下畑円佳さん(ともに足尾小学校6年生)は、「4月から練習して今日の本番に臨みました。いっぱい汗をかいて疲れたけれど、みんなと楽しく踊ることができてよかったです」と話してくれました。



新しくなった大沢支所の窓口の様子。



**大沢地区センターオープン**  
5月7日(木)にオープンした、大沢地区センターの開所式が8日(金)に行われました。  
大沢地区センターは、大沢支所・大沢公民館・大沢体育館を兼ね備えた複合施設です。支所・公民館棟と体育館棟に分かれており、段差を無くすなど誰もが快適に利用できるように、ユニバーサルデザインに配慮した建物となっています。  
式典では、事業用地に協力された方などへの感謝状の贈呈(写真①)や、開所を祝いテープカットが行われました。また、アトラクションとして、大室高齋神社の雅楽会の演奏(写真②)も行われ、式典に華を添えました。



**弥生祭**  
日光の春を告げる弥生祭が、4月13日(月)から17日(金)にかけて行われました。  
16日の宵まつりでは、神橋での登橋神事の後、集まった東西12町の家体が順番にお囃子を披露しました。17日の例大祭では、12の家体が二荒山神社の鳥居前に集合。今年の先番当番町である板挽町を先頭に、神社の参道を次々と登って境内に練り込んだ後、名刺交換



などが行われました。練り込みを見守った男性は、「最近では家体の引き手が少ないので、境内への練り込みの時には他の町の引き手が手伝いに来てくれるようになりました。各町がみんな協力して祭りを盛り上げてくれるんです」と話してくれました。

瀧尾神社例大祭



4月14日(火)・15日(水)の2日間、今市地域の瀧尾神社で春の例大祭が行われ、今年も川原町が当番町を務めました。

当日は、神殿での神事や、華やかな衣装で着飾ったかわいらしい稚児などの行列が行われました。さらに、稚児の後ろには神輿も練り出しました。

行列の一行は各氏子町を廻り、周囲からは温かい声かけられていました。



昨年9月から工事のため休業していた川治温泉「薬師の湯」が、4月19日(日)にリニューアルオープンしました。  
これに伴い、前日の18日(土)に竣工式が行われました。式典では市長が、「薬師の湯が川治温泉活性化の起爆剤になってほしい」とあいさつ。また、関係者へ記念品も贈呈されました。式典終了後には、川治の鬼子蔵汁が配られ、皆さん舌鼓を打っていました。



**ビーブピア栗山**  
5月3日(日)、栗山地域でビーブピア栗山が開催されました。会場に用意されていた約80台のバーベキューコーナーは、予約客で満席でした。訪れた人たちは、満開のヤシオツツジと新緑の中で、バーベキューやそれぞれの会話を楽しんでいました。また、漬物などが当たる抽選会も行われ、盛り上がりしました。